資料④　あとがき（活動を終えて）

（岸）　私は、昨年監事に就任し、その後、監査懇話会に入会し2年目となりましたが、まだまだ駆け出しの身です。今回は、アンケート調査の取り纏め役を担当させていただき勉強になりました。また、面談において、アンケートには書かれなかった様々なオフレコ話やエピソードなどもお聞きすることができ、大変貴重な経験となりました。

今回の活動を通じて特に印象に残った点は、監査役と一口に言っても、実際には業種、企業形態、経営理念及び職務経験等によって、それぞれの置かれる立場や環境も異なり、監査役就任時の悩みや苦労なども微妙に違いがあることです。

しかし、皆様に共通して言えることは、その不安や疑問を払拭するために、前任者と丹念に引継ぎをされ、また、積極的に執行側や現場の管理職及び社員とも丁寧にコミュニケーションを取られ、地道に且つ前向きに取り組まれていることです。その真摯で誠実な姿勢に感服し、改めて監査役の役割の重要性を感じることができました。

管理部門の経験の乏しい自分にとっては、監査懇話会は頼もしい存在であり、また拠り所でもあります。時には執行側への牽制ともなります。アンケート回答のメッセージにもありました通り、各種セミナーを通じて基礎知識や監査実務を学ぶことは勿論大事ですが、他社の会員・会友の方々と本音で話ができる懇親会はとても有意義な場と感じます。新任監査役の皆様にも是非積極的な参加をお薦め致します。

（上野）私も昨年常勤監査役に就任し、監査役 2 年目を迎えております。ほぼ海外営業一筋の商社マン人生を歩んだ後で、子会社しかも所謂「まるドメ」の国内販売会社の監査役に派遣されました。会社法改正に伴う企業集団の内部統制という聞きなれないものに、どう対応すべきか数カ月は悶々とする日々を過ごしました。そうした中で、昨年 1 年間を通して参加させて頂いた監査懇話会の新任監査役向けのセミナーを始め、分科会等のセミナー等で監査業務の知識を少しずつ蓄積して行きました。

法体系を理解することは時として苛立ちを覚えます。会社の形態により要求されるものも異なります。参考文献は一般的には上場企業などを対象に書かれており、非上場企業、子会社の新任監査役には会社法を理解するのに高いハードルになります。先ず何をせねばならないか、足元を固める優先順位を知るすべがあれば、新任監査役にとっても大いに役立つだろうという思いがありました。

今回ご協力を頂き、面談させて頂いた各社の皆さんには貴重なお時間を頂戴しました。監査業務遂行において注意していることを具体的に例示して頂いたことは、新鮮でありました。監査役は研鑽を積まねばならないと多くの図書に記載されてありますが、矢張り多くの監査役経験者のお話を聞くことが、一番頭に入ることを再認識しました。これからも、監査懇話会が監査業務の品質向上に向け、実践的な情報を提供出来る組織であってほしいと願う次第です。

資料④　あとがき（活動を終えて）

（荒木）　私が本研究テーマを選んだのは、自らが新任監査役就任時に感じた心境そのものであったのが第一の理由であったと思います。その当時、果たして監査役の職務と責任とは何なのかと不安になり、いろんな参考書籍とか文献を探して読んだのを思い出します。当会会員・会友の方々も新任監査役就任時には同様の悩みとかご苦労があったということは想像に難くないことですが、諸先輩の方々は種々のご苦労をどのように乗り越えられたのか、また、どのようなことを手始めに実務面で手がけられたのかを記録として残すことは、きっと新任監査役の方々への精神的悩み解消の一助になると思った次第です。

今回のアンケート調査と面談では、本テーマに関して皆様から実に様々なお言葉や情報を収集することが出来ました。諸先輩の皆様も監査役就任時にはいろいろと試行錯誤されてご苦労なされたことを知ることができました。また、お言葉の中には私のような 4 年目監査役にとっても今後の監査活動で参考とすべき「監査役としての心構え」となる貴重なご意見も含まれており、監査役という職務の難しさと責任の重さを改めて考えさせられました。その意味で本調査結果でのご回答内容は、新任監査役の皆様だけでなく、全ての監査役、監査委員および取締役監査等委員の皆様にも多くの有益なメッセージが含まれていると信じます。

最後になりましたが、本報告書の文面をお借りして当WG研究活動にご協力いただいた会員・会友の先輩諸氏には感謝の意を表します。